

平成 29 年度東京電機大学大学院修了式・東京電機大学卒業式式辞

本日、大学院 431 名、学部 1,901 名の修了・卒業される皆様に心からお祝い申し上げます。あわせて今まで長い間、ご子女の本学での研鑽を支えて頂いた保護者ならびに関係の方々のお慶びはいかばかりかとお祝い申し上げます。また、ご臨席いただきましたご来賓の皆様の本学への温かいご支援、さらには本日、修了・卒業される皆様をご指導頂いたすべての方々に心から御礼申し上げます。

本日の修了・卒業をもって皆様は、本学における研鑽を締めくくり新しい飛躍の道へと出発されます。この出発を祝福するとともに、皆様の将来に栄光あれと祈るものであります。皆様は本学の建学の精神である「実学尊重」、教育・研究の理念である「技術は人なり」に基づいて研鑽され、先端科学技術に関する専門知識とそれを応用する能力を身に付けられました。これらは皆様が創造性豊かな研究者として、あるいは高度な専門職業人として成長されるための基盤であり、今後皆様が社会で活躍されるに際しこの基盤が重要な役割を果たすことと私は確信しております。

昨年の平成 29 年はネットワークとの接続が広く謳われ、つながっていること＝Connected の概念の重要性が前面に押し出されました。修了・卒業された皆様を受け入れる世界は、これからどんな世界になって行くのでしょうか？

皆様は「宇宙船地球号 (Spaceship Earth)」という言葉をご存知でしょうか？ 1963 年に米国の建築家・思想家であるバックミンスター・フラワー氏が提唱した概念・世界観で、地球を宇宙という海を航海する船に見立て地球そのものが船のように閉じられた世界であることを示しました。この船のように閉じられた世界の中で、平和に共生するべきとの願いが込められた言葉です。国際連合はこれを受けて、最近この閉じた宇宙船地球号の中での課題を解決しようと世界に働きかけています。国際連合が 2030 年までに解決しようという世界を変えるための持続可能な 17 の開発課題 (SDGs: Sustainable Development Goals) がその内容です。貧しさや餓えを無くし、皆を健康にし、皆を教育し、平等の世界を作ろうと 17 課題の解決を国際連合は世界に求めているのです。さらに

言えば、すべての課題を解決するためには科学・技術および創造 (Science/Technology & Innovation) の進展が必要であると結論付けています。高度専門家に成長されている皆様に世界中が大きな期待を抱いています。

この17の課題解決は、皆様が本学に入学したころに国際連合で考えられま
とめられたものです。進歩の速い今、この解決策には変化が生じているのでは
ないでしょうか？最近強調されているつながる=Connected の概念、つまり
Internet of Things(IoT)の考えを入れなくて良いのでしょうか？いつまでも宇
宙船地球号なののでしょうか？と私は考えています。

つながるということでは今や地球上のすべての情報源、具体的には150億個の
携帯・スマートフォン、20億台のパソコン、無限ともいふべきメモリ、さら
には76億人になる人間の知性が繋がれ共有されているのです。すなわち地球
の表面に存在する情報発信源のすべてが接続された結果が、IoTだと言えまし
ょう。76億人も知性が繋がり動く地球は、もはやサイバー空間的には超知
性地球と呼ぶべきでしょう。地球は「宇宙船地球号：Spaceship Earth」とい
う物理的存在から、サイバー空間での「超知性地球：Super Intelligence Globe」
と呼ばれるまでに成長しているのです。そして皆様一人一人は、その一要素と
して組み込まれているのです。

「そんな想像を超えた超知性地球を使いこなすことはできない」、「ただ使わ
れるだけになってしまう」と諦めるのは早いのです。「科学のパラドックス」
と「技術の事実」とが我々を救ってくれます。まず科学のパラドックスです。
皆様は色々なことに疑問を持つと思います。そしてそれを解決しますが、解決
とともにまた疑問が発生します。科学とは疑問に解答することなのですが、一
つ解答を見つけるたびに必ず二つは疑問が生ずるのです。つまり解答を与える
はずの科学に終わりはありません。

では技術はどうでしょうか？皆様は何かしら不便を感じます。車を運転する
のは面倒だと思う人が自動運転自動車を創造、つまり作り出します。作り出し
終わり、やれ良かったと思った瞬間に最低三つの創造意欲が生まれます。まず
もっと経済的にならないか？次にもっと使い易くならないか？最後にもっと

性能を上げることはできないか？一つの不便を解決する創造から、常に三つ以上の創造意欲が生まれるのです。すなわち創造を職業とする皆様の前途は、希望に溢れ洋々たるものなのです。

先に述べたようにIoT時代とは、超知性地球に組み込まれている皆様一人一人がこの超知性地球を活用して、創造意欲を現実の創造・イノベーションとすることなのです。皆様は高い専門能力を身に付け、それを人に役立てる教養も身に付けています。これらの専門能力と教養と知性、そして完成の過程にある超知性地球を活用して新しくより高い創造・イノベーションを起こし全人類に貢献してください。東京電機大学は、技術の先導者たる皆様を今日これから社会へと送り出すのです。

本学は創設以来110周年を越え、21万人を超える研究者ならびに高度専門職業人を世に送り出し、わが国ひいては世界全体の産業と文化の発展に貢献してまいりました。大活躍している先輩たちに続いて、さらなる素晴らしい社会貢献を实らせることが今この場におられる皆様に期待されているのです。東京電機大学で学んだ知識と技術、それを使う能力をさらに磨き、無限の力を与えてくれる「超知性地球 Super Intelligence Globe」を最大限に活用して、皆様が多くの課題に自信と夢を持って挑戦し続けてくださることを私は確信しております。

結びにあたり、今まで温かくご子女の成長を見守ってこられたご家族・ご親族の皆様に改めてお祝いを申し上げますとともに、修了・卒業される皆様が新しい時代に向けてご活躍されることを心からお願い申し上げます、本日の式辞といたします。

平成30年3月18日

東京電機大学

学長 安田 浩